

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		桜川市制施行20周年記念事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	新規	事務事業No.	060103001117
総合計画の施策名		0601	市民協働のまちづくり			単独/補助	単独	所属課	010101	
政策体系	政策名	06	みんなで築く自治のまちづくり					課長名	秘書広報課	
	施策名	01	市民協働のまちづくり					グループ	秘書広報	
	手段名	03	③市民の連携による地域づくりの推進					担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	04	02	00	秘書関係事業			
法令根拠							期間限定複数年 (令和 6 年度～ 令和 7 年度)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
令和7年(2025年)10月1日に市制施行20周年を迎えることから、記念事業(記念式典・冠事業等)を実施し、20年の歩みを振り返りながら市民の郷土への愛着や誇りと一体感の醸成を図り、明るい未来に向けて更なる飛躍を目指すことを目的として記念事業を実施する。これを節目として市民と行政の協働によるまちづくりのさらなる発展に向けた機会とする。	①市制施行20周年記念事業の実施体制の整備 ②記念事業の実施内容の調査及び庁内の調整、実施内容の決定 ③記念式典の実施

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
①市制施行20周年記念事業の実施体制の整備 ②記念事業の実施内容の調査及び庁内の調整、実施内容の決定 ③記念式典の実施	記念式典の回数	回	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
	冠事業数	事業	0.00	0.00	12.00	0.00	0.00
	新規事業数	事業	0.00	0.00	13.00	0.00	0.00
	記念事業に係る調査件数	件	0.00	30.00	20.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
市民	桜川市人口	人	367,940.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
20年の歩みを振り返りながら市民の郷土への愛着や誇りと一体感を醸成する	参加した市民の割合	%	0.00	0.00	20.00	0.00	0.00
	行政活動に意見を述べ参加したことの人の割合	%	0.00	0.00	10.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	内訳	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	0	0	7,255			
		事業費計 (A)	千円	0	0	7,255			
		正規職員従事人数	人	0.00人	3.00人	5.00人			

06年度事業費 実績 (千円)				07年度事業費 予算 (千円)			
				07 報償費	660		
				10 需用費	3,326		
				11 役務費	898		
				12 委託料	1,871		
				18 負担金補助及び交付金	500		
				合計	0		
				合計			7,255

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> 記念式典の実施 啓発品の購入 市SNSなどでの広報・周知活動 		

事務事業名	桜川市制施行20周年記念事業	事務事業No.	60103001117	所属課	秘書広報課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 市制施行20周年を祝うとともに、20年の歩みを振り返りながら市民の郷土への愛着や誇りと一体感の醸成を図り、明るい未来に向けて更なる飛躍を目指すことを目的として記念事業を実施する。これを節目として市民と行政の協働によるまちづくりのさらなる発展に向けた機会とするべく記念事業を実施することとなった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 必要最低限の費用で事業を実施するよう努める。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民とともに20年の歩みを振り返り、今後の施策に結びつけていくことは、市民の行政活動への参加や意見を述べる機会の創出に繋がるため政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市制施行20周年を祝うため記念事業を実施することは、市が行うべきであり妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 市主催の記念式典の他、市制施行20周年記念として冠事業や新規事業も実施するため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市制施行20周年を祝う記念事業を廃止することは、桜川市の一体感の醸成に支障をきたす恐れがあるため影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 外部団体と連携して記念事業を実施する
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 10年前と比較し職員数も減少している中、通常の事業に加え記念式典や冠事業、新規事業を実施するので削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 記念式典は、会場の収容数の都合で参加人数が限定されてしまうが、冠事業や新規事業を実施することで多くの市民が参加することが期待できるため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市制施行20周年記念事業を実施するにあたり、庁議メンバーで構成する推進本部とその下部に推進部会を設置し事業の準備を行った。新規事業や冠事業など庁内から提案を受け、財政状況などを考慮し実施する事業を決めることができた。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市全体で市制施行20周年を祝うため、記念事業をより一層周知する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>	
--	--	--	--